

岩手県立大学大学院
総合政策研究科
博士前期課程

令和4年度(第2次募集)

入学試験問題

専門科目

志願区分：一般

注意事項：

1. この試験は、10時00分から12時00分までである。
2. 「始め」の合図があるまで、問題を見てはならない。
3. 試験中に、問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあつた場合には、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
4. 解答は、黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入しなさい。万年筆、ボールペン等は使用してはならない。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

専門科目

注意事項：

1. ①から③の3題のうち、2題を選んで解答しなさい。3題解答した時は採点しません。
2. 解答用紙は、問題別にあります。
3. 各解答用紙の所定の欄に、志願区分、受験番号および氏名を記入しなさい。

① 収益費用アプローチと資産負債アプローチについて次の問いに答えよ。ただし、以下の語句を用いることとする。

収益 費用 包括利益 純利益 純損失 対応 実現した収益 発生した費用
個別的対応 期間的対応 過去の取引または事象 経済的資源 経済的資源の放棄
固定資産 経過勘定

- (ア) 収益費用アプローチによる利益計算方法を説明せよ。
- (イ) 資産負債アプローチによる利益計算方法を説明せよ。
- (ウ) 収益費用アプローチに基づいた利益計算方法における対応原則の意味を説明せよ。また、このアプローチの下で計上される勘定を一つ挙げよ。
- (エ) 資産負債アプローチによる資産および負債の定義について説明せよ。
- (オ) 制度会計における財務諸表計上項目（固定資産および経過勘定）について収益費用アプローチと資産負債アプローチからの批判をそれぞれ説明せよ。

② シェアリング・エコノミーや、サブスクリプションといったビジネスモデルに代表されるように、近年、モノの所有だけではなく消費体験が重視されつつある。それに伴い、伝統的な消費モデルであるソリッド消費と対比して、流動的なリキッド消費といわれる消費傾向が顕著になってきた。このリキッド消費について、「短命性」、「アクセスベース」、「脱物質的」、「二次流通市場」の用語を用いて600字以内で説明しなさい。

- 3 貸借対照表上の純資産の部には、資本金および準備金（資本準備金・利益準備金）の項目が存在する。資本金および準備金の額が増加する場合とは、それぞれどのような場合か。反対に、どのような場合においてそれらは減少するか。それぞれ600字以内で説明しなさい。